

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名	: ユニパック GP
会社名	: 株式会社 生産日本社
住所	: 東京都千代田区麹町 3-2 (ヒューリック麹町ビル 7F)
担当部門	: 生産本部 品質保証部 浜松品質管理課
住所	: 静岡県浜松市中区上島 6-8-1
電話番号	: 053-471-6121
FAX番号	: 053-473-2349
整理番号	: FA057

### 2. 危険性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵文字またはシンボル : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害情報

物理・化学的危険性 : 常温の取扱いでは特に危険性はない。  
指定可燃物に該当するため、火気に注意すること。

健康に対する有害性 : 使用される原料の有害性は報告されていない。

環境に対する有害性 : 野外に露出した場合、海洋生物や鳥等が摂取する可能性がある  
あるので、廃棄や露出には注意を要する。

注意書き : なし

### 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物質の区分	: 混合物
成分	: ポリエチレンを主成分とする樹脂組成物
官報公示整理番号 (化審法 安衛法)	: ポリエチレン (6)-1
CAS No.	: ポリエチレン 9002-88-4

### 4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに医師に連絡をとりその指示に従う。

皮膚に付着した場合 : 刺激があれば石鹼で洗い落とす。

飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させる。

目に入った場合 : 清浄水で洗浄する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤。
- 消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意 : 転倒させる可能性がある為、確実に回収する。
- 環境に対する注意 : 河川等に排出しないように注意する。
- 除去方法 : 飛散したものをほうき等にて容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消化剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意 : 袋が床面に散乱し、その上を歩行した場合転倒の危険があるので、清掃処理をする。
- 保管上の注意 : 直射日光，高温多湿な場所を避け、火源，熱源のない常温屋内に保管する。  
過大な積重ねや長期間の保管を避ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに洗身シャワー，手洗い，洗顔設備等を設けることが望ましい。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会，ACGIH 共に設定されていない。但し、粉塵が発生する場合は吸入性粉塵  $2\text{mg}/\text{m}^3$ 、総粉塵  $8\text{mg}/\text{m}^3$ とするのが望ましい。
- 保護具 : 保護手袋，保護眼鏡，保護長靴，長袖保護衣等。

## 9. 物理的及び化学的物性

- 外観等 : 透明チャック付ポリ袋（チャック色：透明）
- 臭い : 微臭
- 融点 :  $100\sim 135\text{ }^\circ\text{C}$
- 引火点 : 約  $340\text{ }^\circ\text{C}$
- 発火点 :  $400\text{ }^\circ\text{C}<$ （推定）
- 密度 :  $0.91\sim 0.94\text{ g}/\text{cm}^3$
- 溶解性 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
- 反応性 : 自己反応性なし。
- 発生する有害性のある物質 : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物を生成する。
- 水との反応性 : なし
- 

## 11. 有害性情報

- 発がん性 : IARC の発がん性区分でグループ 3（人に対する発がん性については分類出来ない）
- 急性毒性、慢性毒性 : なし（文献による）
- 変異原性、感作性
- 刺激性、生殖／発生毒性 : 特に知見なし（特別な問題はないと考えている）
- 

## 12. 環境影響情報

- 既知見なし
- その他 : 海洋生物や鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域において投棄、放出してはならない。
- 

## 13. 廃棄上の注意

- 廃棄上の注意 : 廃棄物の処理に関する法律、規則、条例に即して処理を行う。
- 

## 14. 輸送上の注意

- 特定の安全対策及び条件 : ダンボールケースは破れない様に、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。車両等積み込みにあたっては転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- 国内規制 : 消防法における指定可燃物に該当する為、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
- 

## 15. 適用法令

- 消防法 : 指定可燃物（合成樹脂類 3, 000kg）
- 食品衛生法 : 用途による規制あり（例）食品包材
- PRTR法 : 改正 PRTR 法（2009 年 10 月 1 日施行）対象外  
旧 PRTR 法 対象外
- 廃棄 : 廃棄物処理及び清掃に関する法律
-

## 16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 : 先頭頁記入の担当部門までお願いします。

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価につきましては情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。
  - ・ 記載事項は通常の実用を対象としたものです。本製品の取扱いの適性に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。
  - ・ 特殊な取扱いの場合や二次加工品の場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願い致します。
-